

# 神主義と真の父母様の思想

基本的な真理は

平和の哲学

ジェームズ・リグニー

天宙平和連合

ネバダ州ラスベガス

皆さん、

今日の現代世界において、伝統的な倫理と道徳が崩壊し、そして結婚と家庭の価値は混乱し、蝕まれています。従って、離婚、同性結婚、HIV/エイズその他の性感染症などのような問題が増加しています。不幸にも、そのような状況の被害者はしばしば、神を中心とした父母の愛に欠ける子供たちです。そして結果として、青少年犯罪といじめに関連した問題が増加しています。

できるだけ早く、これらと他の問題は、最終的な神を中心とした解決を必要とします。基本的な解決をもたらすであろう、実行可能で、現実的で創造的な計画が目標であるべきです。言葉によって導かれる目に見える計画と実際の行動とともに、創造的な反応が神を中心とした言葉のかたちで現れます。

我々はどんな種類の言葉を必要としますか？ 我々は、神の愛にあこがれさせるために、の良心と心情に影響を与える内的な力を持つ言葉を必要とします。我々は直ちにどんなイデオロギーでも、どんな世界観でも、そして過去のどんな概念的な理解でも打ち破ることができる言葉を必要とします。これらの言葉は、新しい心情を生み出すことによって、我々を神の仕事をしよと決心させなければなりません。今日の宗教、特にキリスト教がこの仕事をするべきです。これはイエス・キリストが再臨するときに、なされるであろう仕事です。我々は神の永遠の言葉を必要とします。

神の永遠の言葉が特定の[神の]原理を確立するためではなく、神の生命とイデオロギーを創造するためであることを理解するべきです。SMM (2/2/58)

神の言葉はある種の規則を確立することではなく、その目的は神の生とイデオロギーを創造することです。(5/1/13)

さらに、我々は新しい観点あるいは神の原理を必要とします。また、ロゴスの理論を必要とします。我々は、ロゴスが、万物が神の承認の印と共に、横的な世界に入るために通過するある特定のパターンであると示すことができるでしょう。神の言葉は、神の本然の計画であり、神の真理たるロゴスです。

ロゴスの構造の明確な理解をもって、我々を創造する目的を持ち、そして平和で調和した宇宙で我々一人一人と繋がる深い願望を持つ、永遠の心を持った本物の生きた創造者の存在を全ての人々に見せることができる、世界に対する論理的な理論を提示することができるでしょう。

神の永遠の言葉の目的を持ち、理解するために、先ず、我々はそれらの言葉と調和し、共鳴する実体となるべきです。我々は、我々にただそれだけを見せるために、その言葉を必要としさえします。私は皆さんに尋ねます。我々はいったいどこで、我々ができるだけ早く必要とする永遠の言葉を見つけることができますか？

2012年1月9日に、文先生は我々に言いました。

「あなたは神の言葉を聞くことができませんが、しかし私はそうすることができます。私が聞いた言葉は、訓読会のための教科書と教材になる私のスピーチ本の内容です」

そして、2019年9月16日、韓鶴子博士は、韓国から世界へ、真のご父母様のための聖和式に際して、語りました。

「彼[文先生]は出発のための彼の使命の摂理の一部として、み言葉であり天からの真実を探さなければなりません。神の摂理のこのような要求に応じて、真のお父様は、様々な状況、サタンからの分離の勝利、そして神の承認を受けることを通じて、み言葉を明らかにしました。彼の人生を通じて、真のお父様はみ言葉で神の摂理を導き、指揮しました。み言葉を通じて、彼は世界を活気と生命で満たしました。彼は再創造の神の摂理を完了しながら、愛を育みました。結果として、真のご父母様の路程における熹年の時代の間に、彼は8冊の素晴らしい教科書と教材を完成させ、そして訓読会の伝統を確立しました。これは、順番に、み言葉を通じて、そして我々の世界的な家庭の中にある愛を通じて開かれる、天一国の力強い設立への道を可能にしました。

私は、我々が必要とする言葉は文先生の教えにあると宣言します。我々は神の永遠の言葉を見つけるために、文先生の教材と教科書を通して探すでしょう。

これまで9年にわたって私は、文先生の言葉を調べ、研究してきました。彼の言葉の大部分がまだ韓国語なので、私は作業するための彼の教えの数パーセントしか持っていません。それにもかかわらず、私は英語のテキストからおよそ3万の単語と句を分類し、そして私は2千以上の神の真理を指し示す啓蒙的な用語と句を発見しました。

将来、ただ永遠の真理のみ言葉だけではなく、神の真なる本然の青写真を探し、見いだす特別な研究グループを設立する本部と共に働くのが私の希望です。

お父様は我々に話しました：

「もし、そのみ言葉が今日現われるなら、全員それを受け入れなければならないでしょう。もしあなたがみ言葉に反する行動をするなら、あなたは神の愛を感じることはできないでしょう…。しかし、神の愛を感じることはできる人は、神の愛の所有者になるでしょう。神のみ言葉は、ある原則を確立するためでなく、神の生命と思想を創造するためであることを、あなたは理解すべきです」

文先生はまた言われました

「真理は、制度を導く原理であり、天法の土台である。」

私は個人的に、我々が求めるシステムは文先生の教えの中で見つかるであろうと信じます。今日、我々は神の原理の多くを知っていて、それと共に、我々は制度、神の制度を探し求め始め、そして調和した表現でそれらをまとめることができます。真理、み言葉、そして神の本然の青写真は、すべて一つの縦的真理のコアにあります。

今日、この地球上に真実を公言する数多くの宗教の教義と信条があるが、それらのいずれも、たとえ公言されるように実践されたとしても、我々の心と身体を慰めないだろうし、我々が永遠

にみ言葉に夢中になる[困まれる、満たされる]ことを許さないでしょう。宇宙における生命の起源である神の愛が、我々の心と身体を動かしたために、もし真なる[神を中心とした]み言葉が示されるなら、それはすべての教義と意見における基本的な相違を解決することができるでしょう。

我々は『新版・統一思想要綱(NEUT)』から、神が創造の始まりの前に、本然の計画のロゴスを創造したことを知りました。統一思想要綱で、神の本然の計画が多くの名前を持つことに気付くでしょう。いくつか例を挙げると、創造理想のための神の本然の青写真、神の思想のシステム、神を中心とした哲学的な価値システム、真実、神主義と頭翼思想などです。

私はすべての人々に文先生のスピーチの内容を聞いて、学ぶように奨励することを意図して、文先生のご概念を表す2010年のスピーチのリストを皆さんのために用意しました。我々は、神が我々を目覚めさせ、そして彼の息子・娘たちがするように定められているように、神の本然の希望、永遠の平和と調和の二つの世界となるべく、地上と霊界における天国の完成のため、我々が神と共に働くために我々の状況を導きながら、神様は常に活動していると信じます。

1959年8月30日に、文先生は語りました。

「もし神がいたなら、神は我々との関係を確立する何らかの責任を持っているでしょう。もし神が存在するなら、神は彼の理想が実現されるのを見ようとしているというのが常識、大いなる常識です。それから神は人間の手が届く範囲のある隠された場所に一つの絶対的真理、一つの秘密の公式を置いておかれたに違いありません。」

我々の大部分が、『統一原理』と『新版・統一思想要綱』がこの世界を救うために必要とするすべてであると信じていますが、我々はまた、教科書と教材に中に見出す言葉を必要とします。

皆さん、今日、我々は神の思想、神の考え方、神が外的世界の創造を始める前に心の中で展開した目に見えない概念の目に見える計画を理解するために、必死になって文先生の言葉と思想を理解する必要があります。我々は、心と身体、本性、本然の感情、さらには良心に深く隠されている心情の中にさえ入り込むことができる神の言葉を持っています。これらの言葉は文先生の教えにあります。これらの言葉によって、我々はすべての永遠のために正しい方向に動かされるでしょう。

我々は、最も密接に影響される家族の人々のみならず、氏族、民族、国家、世界、そしてこの世を超越する領域の人々によってさえも認識されることのできる基本的な真理、言い換えれば、平和の哲学をまとめ上げなければなりません。(381-142、2002.06.12)

我々の最終目的は、想像だけでなく、現実には1つの実体的な神を中心とした世界を持つことです。地上のそれぞれの人々が、神の生命と愛と血統を所有するために、天の血統に生まれました。我々でなく、誰がそれを可能にするのでしょうか？

ひとたび我々が平和の哲学である基本的な真理の実際のパターンを持つならば、神の血統が世界を支配するために、我々が家庭教会と氏族メシヤに我々の活動を集中するにつれて、我々がそれをもたらすことを私は望みます。サタンの血統から我々を分離する結婚祝福なくして、真の父母の希望を果たすことはできません。真の家庭は未来の波動、神の希望、神の摂理の計画であり、祝福子女たちは神の大きな切り札です。

では、私は残りの時間で、短いパワーポイントのプレゼンテーションをしたいと思います。

**我々が文先生の教科書と教材から見つけられる、神を中心とした思想を創造するのに用いることができる全ての用語の最初のパワーポイント・リスト**

1. 神を中心とした軸
2. 縦的眞の愛の道
3. 神は縦的な神と縦的な父と縦的な親
4. 万物の中心的な霊的支柱
5. 眞理の中核軸
6. 心情の軸
7. 神の愛を受ける縦的な道
8. 普遍的なモデルのパターン
9. 愛のパターン
10. 愛の暖かさの起源は絶対的基準
11. 眞理、光、愛の道
12. 眞の父母の教え
13. 中心的な心情と中心的な根
14. 中心的な主題が愛である核
15. 中心が眞の愛である核
16. 父母の伝統
16. 神の属性の核心
17. 神の眞の生命、眞の愛、眞の血統
18. 眞の愛の革命
19. 1つの統一された心情の領域
20. 個人、家族、社会、氏族、国家、世界の精神的な支柱
21. 神の属性は縦的に人間に与えられる
22. 宇宙の目的の中心
23. 宇宙の眞の愛の道
24. 調和、平和、統一の道
25. 理想世界を始めることができる中心的イデオロギーあるいは中心的なポイント
26. 霊界と物質世界の中心になる眞の父母主義
27. 世界を救うことができる新しい宗教的な観念

28. 理想世界への道
29. 縦的な真の愛の道
30. 目に見える世界が従うべき目に見えない概念
31. 絶対的純潔の基準
32. 絶対的な性的革命
33. 絶対的關係
33. 絶対価値システム
34. 絶対的哲学のイデオロギーあるいはシステム
35. 絶対性、平和、理想世界のための神のモデル
36. 1つの絶対的真理
37. 我々の親として絶対的存在である神に仕えるための我々の定められた人生行路
38. 内的には人格完成を通じて、外的には成人期に達することによって、絶対的人間になることへの道
39. 父なる神とその子女として人間を繋ぐ愛の軸
40. 父母の愛の軸
41. 神の心の青写真、本然の計画
42. 中心の愛、中心の根、中心の幹、中心の芽
43. 家族、氏族、国家、世界の中心概念
44. 歴史の中心的なレール
45. 中央集権化されたシステム
46. 神の真の愛を中心とした家族システム
47. 宇宙の中心的イデオロギー
48. 霊界と物質世界の中心になる真の父母主義
49. 神を中心とした革命
50. 本然の理想を思い描いた神の概念
51. 縦的軸の概念
52. 墮落によって失った永遠の中心基準
53. 我々の心の中に動いている永遠の愛の中心
54. 天国の永遠の観念
55. 創造システム
56. 父子関係である宇宙の普遍的な中核となる真理
57. 神の創造のその理想
58. 宇宙の基盤に横たわる関係
59. 神の意志と神の摂理
60. 神の下の一つの家庭は真の愛に基づいた世界観、イデオロギー
61. 心情の革命
62. 真の父母によって始められた真の愛の革命
63. 驚くべき革命運動
64. 究極の靈的革命

65. 神の真理のための中心線
66. 創造の時点における本然の真の愛、真の生命、真の血統
67. 「真理」の道(理想世界のシステムを導く原理のレール)
68. 法と原理の基準
69. 作用するロゴス
70. 統一された理想

文先生の教科書と教材から見つけられる、我々が神を中心とした観念を創造するのに用いることができる用語の2番目のパワーポイント・リスト

1. 「真」はシステムを導く原理であり、宇宙の法則のための基盤である。
2. 「真」は「神を中心とした」を意味する
3. 不変の縦的軸は神によって引かれた
4. 神の最善の部分とは何でしょうか？真理が神の最も重要な部分でしょうか？もし神と被造物が相互に関連しているとしたら、真理を通していかなる善がもたらされるでしょうか？真理は実際、心情からではなく、論理から生じる冷たい非人間的な量である。真理は事実を明記することができますが、暖かさは持っていません。真理は、点と線がそれらの調和を通してどのように何かを創造するのか、どのように点が動いて線を創造し、調和した線が円を創造するのかというように、何かを描写することができます。この理解に照らして、真理の力は神の最も優れた部分でしょうか？
5. 第一に、神は縦的な真の父母であり、皆さんが神の真の子女であるように、皆さんは家族の3世代の領域を確立して、4大心情圏を完成し、そして永遠に縦軸の神に仕えるでしょう。
6. さらに皆さんは、横的な真の父母である平和の宇宙の王を擁護し、天一国の市民として永遠に横軸で絶対服従で生きる必要性を皆さんの心に刻み付けるでしょう。皆さんは他者のために生きるでしょう。そしてそれは真の愛の実践、あなたの生活の基準です。皆さんは真の家庭を確立し、罪のない純粋な真の子女を育てること、すなわち、神の血統を守り、それを損なわずに世代から世代まで残すでしょう。
7. 真っ直ぐな縦軸は常に性器を通過します。何故ならそれが縦の最終地点であるからです。縦軸のその最終地点は神ご自身の希望です。我々が90度の角度を持続することを確認しなければならないのがここです。縦軸が絶対であるほど、横軸も同様に絶対でなければなりません。

8. それは、神が彼の愛において始めた縦的な愛の伝統であり、我々が我々の生命を与えることをいとわない宇宙の基本的な真理です。それが真理についてのすべてです。
9. 一つの点から、無限の数の、無限に長い線が、上下、前後、左右に描かれるように、時間と空間の世界がこの統一性から上下、前後、左右の方向に無限に拡大します。(NEUT)
10. 真理は迫害の暗闇の中で輝く光です。神のすべての計画は、その公式に従って進行します。
11. 縦軸は「真」を強調するために、真の父母と真の子女たちの間に引かれます。
12. 創造者は縦的な真の愛を中心とした縦的な父です。
13. 神は父であり、親の立場にいます。
14. 神は地上の神々となるように人間を創造し、自身を天の神、縦的な神として確立しました。これは天上と地上が調和しながら統一して、共に愛に生きることができるようにするためでした。
15. 我々は、外的な、目に見える世界に置かれている中心点を持つことができなければならず、それは最も高い次元の形而上学の世界に置かれている中心点に接続されています。そして、後者を不変の軸として、もう一方が、時間と空間の中の万物に絶対的な意味と価値を与えながら、授受作用を通して永遠にその周りを回るでしょう。
16. 真理は真っ直ぐです。(2/14/1979)
17. 神が神の愛において始めた縦的な愛の伝統、我々が生命を捧げることをいとわない宇宙の基本的な真理。(6/10/79)
18. 「歴史を通して、人類は真理、真の言葉を探してきました。真理は、人類のすべての問題を解決することができる基準です」 “新しい希望”12のスピーチ、審判の三段階
19. 「神の最も高い位置と最も低い位置は、まだ真の愛である1つの実体で調和させられることができます。神である宇宙の最も高いポイントから、宇宙の深い所まで引かれた1本の垂直の直線はまだ1本の線です。その不変で、安定した垂直の線は、神から万物と人類への真の愛の線です。神がどれほど高く、あるいはこの世界がどれほど低かろうが、これらの2つのポイントは1本の線で繋がっています」(6/10/79)



20. 「神が描いたこの線は歴史の軸であり、他方すべての人類の歴史は1本の水平な線を形成します。この図は、直径の異なる多くの別々の円であり、直径の長さは円の大きさを決定しますが、水平の線が正確に描かれる限り、真円が常に形成されるでしょう。」(6/10/79)
21. 「…もし神の意志があるなら、神の意志の下の歴史だけが重要であり、我々は、過去に神の意志から来る、その歴史の生産物あるいは果実になることを望みます。我々を通じて降りて来る神の意志は未来を形成するでしょう。それをするにおいて、我々はいくらかの異質な力、あるいは何か他の力が来て、我々と一緒になることを期待することはできませんが、標準のある、あるいは垂直に引かれた究極の線があり、皆さんが皆さん自身をその線に合わせるか、あるいはその線上にいるようにしなければなりません。もし神の意志がこのように揺れたり、あるいはただ皆さんに向かって傾くなら、それは神の意志ではありません。現在の世界に住んでいる人々は、彼ら自身を調節することができなければなりません。皆さんは神の意志が縦の線を描き、それを誰も否定したり、揺らしたり、傾けることはできないことを十分明確に知らなくてはなりません。垂直の線のわずかに左にずれれば、皆さんはサタンの世界に加わり、垂直の線の少し右にずれれば、皆さんは神の側に属します」(2/2/73)
22. …「神から来ている垂直の線は決して揺れることはできず、決して曲がることはできません。従って、その線に加わる、その線に立つことを望むすべての人は、その線に近づかなくてはなりません。神の愛でお互いを結び付ける我々の理想的な存在、我々はそのに加わるために、その線により近づこうとしなくてはなりません。ただ1本の線だけが存在できます。我々が神に到達するために、ただ1つの方法だけが可能です。」(2/2/73)
23. 「では、我々人類はどうすれば、どちらの[方]が正しい[良い]方法なのか、どちらの[方]が垂直の道で、[そして]神から来るのかを知ることができるでしょうか？ [答え→]そうですね、我々が墮落しているとしても、我々にはまだ我々の良心が残っています。それで、我々が左[悪]の側に加わるとき、恐れと不安と動揺が襲います。あなたの5つの本質的な感覚は、人間の墮落によって少し鈍くなっていますが、それでもあなたはそのぐらいは

感じることができます。私が前に言ったように、神からの力、あるいは神からの愛の力は、このような垂直の線に来て、我々は中心人物となって、その線の上に立つことを望みます。もし我々がそのポイントに位置しているならば、我々は神の愛に酔い、そして全世界は美しくされるでしょう——世界で起きているすべてのものが、それほど美しく見えるでしょう。皆さんは幸せです。もし皆さんがその場所からそれたり、あるいは立ち去ったりしなければ、皆さんは永遠に幸せであり、皆さんは唯一の幸福、完全な幸福に酔います。そして、神とあなた自身のうち——彼は誰がそれを調整しなくてはならないと言いましたか？ まあ、私は皆さんが答えることを望みます……………」(2/23/73)

24. 「…神の摂理における復帰の延長が起きました。何故なら、人類は常にふらついていて、自分たちを神から来ている垂直の線の上にあるように調節することができなかったからです。たとえ皆さんが、将来、このように皆さん自身を中心人物にして、垂直の線の上にあなた自身を置いたとしても、もし皆さんがこのようにふらつくならば、皆さんはその線と何の関係もありません。しかし、我々は永遠を経て、伝統を準備しなければならないと言いつつ続けます…」(2/23/73)

25. 「皆さんは映画、『屋根の上のバイオリン弾き』を見ました——彼[バイオリン弾き]はユダヤの伝統について話をし続けます。彼らは自分たちの伝統を高く評価しますが、彼らは、自分たちが伝統と呼ぶものが神の線と一致しなければならないということが分からなければなりません…。それが何であるか定義することは単純ですが、それを実行したり、あるいはあなた自身をそうなるように調整するのは難しいです。直線の上に常に行けば神の意志がありますが、そこを離れると人類は他のところにいることになります…」(2/3/73)

26. 「もし皆さんが皆さん自身を垂直の線の上に置いたなら、原因は北、あるいは上[より他のどこか]から来るのでしょうか？ 皆さんは中心で皆さんと共に垂直の直線を描かなくてはなりません。水のように、皆さんは下方へ流れ、皆さんは直線の上にそれが流れるようにすることを好みます。皆さんは過去の祖先の果物であり、皆さんがこの現在の人生で生産するものは、直線上の皆さんの子孫に下の方へ渡さなくてはなりません」(8/4/74)